

「環境・社会報告書」の発行について

平成18年3月16日

1. 発行の趣旨

現在推進中の中期経営計画「ニューストリーム2007」において、環境経営の取り組みを強化することとしており、このほど、下記の内容からなる「環境・社会報告書2005」を発行しました。

(1) 環境・社会報告書の骨子

「モーダルシフトの担い手」として、「環境にやさしい」鉄道貨物輸送の発展を通じて、地球環境問題への対応・物流効率化などの社会的要請にこたえていく。

事業活動における環境・社会への取り組み姿勢について、現状を把握するとともに、今後の推進体制構築に向けての基本姿勢を示す。

(2) 主な内容

モーダルシフトの推進（貨物鉄道事業の発展を通じた環境・社会への貢献）

ア．コンテナ輸送サービスの量的拡大と質的向上

イ．貨物駅のE & S化

ウ．インフラ整備による輸送力増強

エ．新型特急コンテナ電車「スーパーレールカーゴ」の開発

環境面の主な取り組み

ア．静脈物流の展開

イ．化学物質の適正管理（PCB・石綿（アスベスト）等）

ウ．騒音・振動の低減（車輪のフラット除去、低騒音フォークリフト導入等）

エ．廃棄物削減・省資源の取り組み（鉄まくらぎ導入、本社ビルにおけるゴミの分別回収等）

社会面の主な取り組み

ア．安全輸送への取り組み

イ．顧客とのコミュニケーション

ウ．人事・勤労関係

エ．地域社会との共生

2. 今後の課題

「環境経営活動」の一層の深度化を図るとともに、環境・社会経営指標の把握手法についても検討を進めていきます。